

第3節 公園・緑地

現状と課題

本町の公園は、従来の開発により寄付されたものや、農村公園として設置した小規模な街区公園が大半でしたが、平成8年度より大規模な公園整備に取り組み、平成15年には一定の整備が進んだと考えられます。

その成果として、「田原本町イベント広場」や大和川の河川敷を利用した「しきのみちはせがわ展望公園」、清掃工場に隣接した「やすらぎ公園」が完成し、それぞれ地域の憩いの場として親しまれています。

唐古・鍵遺跡の史跡公園整備事業は、平成11年度から公有化を進め、唐古池を除く約7haが平成18年度末までに概ね終了する予定です。その後、史跡整備を進めていくこととなりますが、唐古・鍵遺跡の公園整備は、大規模なため、長期に及ぶことが予想されます。これらのことから、現行の公園整備計画は、歴史的建造物の復元手法も研究し、適宜見直しを図りながら町民のニーズと史跡公園としてふさわしい公園づくりを行う必要があります。

今後、少子・高齢化が進む中で、公園への住民ニーズは変化に富み、多種・多様化していくことが予想され、計画的な整備・保全に努める必要があります。

公園・緑地

公園の整備

緑化の促進

水辺環境の整備

施 策

1. 公園の整備

①唐古・鍵史跡公園の建設

用地公有化が終了後、約7～10年かけて公園整備に取りかかりますが、完成までには長期にわたるため、一定区域ごとに開園していきます。公園という性格上「憩いの場」としての利用が中心になりますが、史跡公園という側面も有していることから、歴史学習の場として活用を図るソフトづくりも進めていきます。また、広大な公園の維持管理等の課題もあり、その方策を模索しながら、「官」「民」協力体制づくりも行っていきます。

②史跡公園の活用

唐古・鍵遺跡の史跡公園は、一地区の公園としてではなく、広域型の公園として位置づけ、各地の文化財や遺跡公園とのネットワークを整備します。

③個性ある公園の整備

公園整備の際、どのような公園を住民が望んでいるのかニーズを把握しながら、整備を進めます。また町全体の緑の保全・整備及び緑化推進を図り、住民とともに緑地の整備に取り組みます。

④その他の公園の整備

スポーツ・レクリエーション施設や子どもの身近な遊び場を備えた公園整備を図ります。

⑤公園の管理運営

住民や企業との連携による公園の管理・運営方策について検討するとともに、公園ボランティアの育成を図ります。

⑥斎場・公園墓地

斎場及び墓地は各墓郷で管理・運営されていますが、一部墓郷周辺環境整備や斎場の整備が不十分であります。

今後は、墓地需要を考慮しつつ、静寂で親しみのもてる公園機能を有した公園墓地等の建設を検討します。



●公園の状況

年 度	人口	箇所数	面積	1人当たりの公園面積
平成 5年度末	32,715人	51箇所	3.41ha	1.04m ²
平成10年度末	33,255人	61箇所	6.20ha	1.86m ²
平成16年度末	33,616人	80箇所	13.04ha	3.88m ²

資料:都市計画課

2. 緑化の促進

①緑化活動の推進及び促進

公共施設の緑化推進及び民間施設、公共道路等の緑化促進を図ります。また、学校教育を通じた緑化体験や環境学習の推進により、住民自ら緑化運動に取り組める体制の整備に努めます。

②緑のネットワークづくり

地区の骨格を形成する幹線道路などの街路緑化を景観にあわせて効果的に行います。

③緑の保全

自然環境や生活環境の保全に重要な役割を果たしている水田は、人々にうるおいを与える空間として、また動植物の生息空間として、保全に努めます。

3. 水辺環境の整備

①親水機能の活用

旧河川敷を活用した「しきのみちはせがわ展望公園」が完成し、親水機能が整備されました。今後、親水機能が活かされたイベントの実施などに努めます。

②河川の美化

河川の維持管理に努めるとともに、住民に対する啓発活動を行うなど、環境美化に対する意識の啓発を行います。

唐古・鍵遺跡整備計画図

